2026年度

国際バカロレア選抜
学 生 募 集 要 項

教　育　学　部
法　　学　　部
経　済　学　部
医 学 部 医 学 科
医 学 部 看 護 学 科
医学部臨床心理学科
創　造　工　学　部
農　　学　　部

2025年8月

香　川　大　学

【国際バカロレア選抜日程概要】

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>募集人員</th><th>出願期間</th><th>試　験　日</th><th>合格者発表</th><th>入学手続期限</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学部</td><td rowspan="2">学校教育教員養成課程</td><td>小学校教育コース</td><td>若干人</td><td rowspan="2">2026年
1月26日
～2月4日</td><td rowspan="2">2026年
2月25日</td><td rowspan="2">2026年
3月6日</td><td rowspan="2">2026年
3月15日</td></tr>
<tr><td>中学校教育コース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>法学部</td><td colspan="2">（昼間コース）
法学科</td><td>若干人</td><td>2025年
12月8日
～12月12日</td><td>2026年
1月24日</td><td>2026年
2月11日</td><td>2026年
2月18日</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td colspan="2">（昼間コース）
経済学科</td><td>若干人</td><td>2026年
1月19日
～1月23日</td><td>＊1</td><td>2026年
2月11日</td><td>2026年
2月18日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">医学部</td><td colspan="2">医学科</td><td>若干人</td><td rowspan="3">2026年
1月26日
～2月4日</td><td>2026年
2月25日
・26日</td><td rowspan="3">2026年
3月6日</td><td rowspan="3">2026年
3月15日</td></tr>
<tr><td colspan="2">看護学科</td><td>若干人</td><td rowspan="2">2026年
2月25日</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床心理学科</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td rowspan="7">創造工学部</td><td rowspan="7">創造工学科</td><td>造形・メディアデザインコース</td><td>若干人</td><td rowspan="7">2026年
1月19日
～1月23日</td><td rowspan="7">＊1</td><td rowspan="7">2026年
2月11日</td><td rowspan="7">2026年
2月18日</td></tr>
<tr><td>建築・都市環境コース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>防災・危機管理コース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>情報コース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>人工知能・通信ネットワークコース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>機械システムコース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>材料物質科学コース</td><td>若干人</td></tr>
<tr><td>農学部</td><td colspan="2">応用生物科学科</td><td>若干人</td><td>2026年
1月19日
～1月23日</td><td>＊1</td><td>2026年
2月11日</td><td>2026年
2月18日</td></tr>
</table>

＊1）書類審査のみで判定するため，選抜期日を設けていない

目　　次

Ⅰ　入学者の受入方針…… 1
Ⅱ　募集人員…… 16
Ⅲ　出願について
　1　出願資格…… 16
　2　出願要件の履修科目…… 17
　3　出願手続
　　〔1〕出願期間…… 18
　　〔2〕出願方法…… 18
　　〔3〕出願書類等提出先…… 18
　　〔4〕出願書類等…… 19
　　〔5〕出願上の注意事項…… 21
　4　選抜方法及び配点
　　〔1〕選抜方法…… 22
　　〔2〕個別学力検査・面接・書類審査等の配点…… 23
　5　個別学力検査等の日時及び場所
　　〔1〕個別学力検査等の日時…… 25
　　〔2〕個別学力検査等の場所…… 25
　　〔3〕受験上の注意事項…… 26
　6　合格者発表…… 27
　7　入学手続
　　〔1〕入学手続期限…… 27
　　〔2〕入学手続に必要なもの…… 28
　　〔3〕入学手続書類送付先…… 28
　8　その他の注意事項…… 28
　9　個人情報の取扱いについて…… 29
　10　障害等のある入学志願者との事前相談について…… 29
　11　国際バカロレア選抜等に関する照会…… 30
Ⅳ　入試情報の開示について
　1　入学者選抜試験における個人成績等の開示…… 30
　2　入試問題の閲覧…… 31
Ⅴ　試験場案内図
　1　香川大学試験場案内図…… 32
　2　香川大学建物配置図…… 33

Ⅰ　入学者の受入方針

香川大学は，「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部，学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教 育 学 部

１．教育理念

香川大学教育学部は，学校教員をはじめ教育者を養成し，広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には，急激な社会の変化の中で，教科に関する新しい学力をどのようにつけるか，子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど，人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化，情報化社会の進展，切実さを増す環境問題，多文化社会における共生の在り方などの問題は，生涯にわたる教育の必要性と新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように，人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に，教育に関する総合的な教育研究を行い，教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

２．教育目標

教育学部では，その教育理念に基づき，豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに，社会の変化やニーズを適切に踏まえ，学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる，専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

３．教育内容

教育学部では，学部の教育目標に沿った４年間一貫教育を行っています。

１年次は各コースに所属し，全学共通科目と学部共通科目を中心に学び，教職に関する基礎とともに，自分の興味や関心を探求し視野を広げます。２年次以降は，より実践的で専門的な授業科目を履修していきます（小学校教育コース及び中学校教育コースでは，２年進級時に所属する領域等を決定します）。特に３年次以降の教育実習を中心として，教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で，それぞれの課題を発見し，解決する能力の育成を目指しています。４年次の卒業研究では，それぞれの具体的な課題に取り組み，専門分野の総合的学力を高めます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊学校教育に携わる上で基盤となる論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち，経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者を目指す者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど，子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者を目指す者として他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア選抜は，幅広く国際的な視野をもつ学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質をみることを目的としています。

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象に，提出された書類と面接で評価します。面接及び出願書類では，コミュニケーション能力，主体性，協働性といった教員としての適性，教職志望の強さを評価します。

法　学　部

１．教育理念

香川大学法学部は，四国で唯一の国立大学法学部であり，高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし，全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに，法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

２．教育目標

香川大学法学部では，その教育理念に基づき，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民，法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち，世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し，その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

３．教育内容

このような教育目的を達成するために，基礎から比較的高度な内容への段階的履修，ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育，希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース，公共政策コース及び企業法務コースの３コース制による教育を実施しています。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ，筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び，議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち，書物や新聞を通して，広く社会で生じていることに対する問題意識を深め，自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し，自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学を希望する人は，入学後の教育に対応できる素質を養うため，高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは，大学教育の前提となるものです。まずは英語及び国語の基礎的な能力を身につけて，国際的な視野と多様性への理解，思考力・表現力を養ってください。また法学・政治学は社会科学ですから，地理・歴史や公民など社会科の科目で学んだ知識も入学後の学修内容と深く結びつきますので理解を深めてください。さらに数学や理科の学びによって培われる論理的思考力は，法学・政治学の理解や様々な課題解決を考える上で重要です。このような高等学校における幅広い学びを通じて，法学・政治学の教育の前提となる知識や思考力・表現力を修得するとともに，社会の出来事に対する問題関心・意欲を身につけ，多様性を尊重し他者と協働することの重要性と，社会の構成員としての倫理観・社会的責任を理解してください。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象に，書類審査と面接を行い，総合的に判定します。特に，書類審査では大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等を備えているか，面接では志望動機のほか，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任の観点を評価します。

経　済　学　部

１．教育理念

香川大学経済学部は，経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では，豊かな人間性と高い倫理性の上に，幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え，国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

２．教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし，多様な価値や文化に対する深い理解を背景として，国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から，自ら課題を発見し，それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は，柔軟な視野にたち，コミュニケーション能力を備え，社会と積極的にか

かわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち，多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報，国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し，分析する能力を身につけるだけでなく，自ら情報を発信する力を身につけます。

３．教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，主に１年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法，他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は，学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は，課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり，各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として，３年次履修の「演習」及び４年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に，各学生は自分の興味・関心・適性，将来の進路等を考慮して，以下の５コースのうちからどれか一つを選択し，より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し，複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で，人びとの幸福の達成に向けて，経済のメカニズムを分析し，日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには，提言を行うための課題探求・解決力，コミュニケーション力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員，自治体･企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

（学修する内容と身に付ける力）

財務会計，管理会計，会計監査等の会計学分野について，主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また，金融論，経営財務，保険論及び財政学の分野について，政府の政策や企業行動を対象として学修することで，ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

金融機関，企業における経理部門・財務部門，会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

（学修する内容と身に付ける力）

戦略と組織，マーケティング，イノベーション，企業の社会的責任など，経営学に関わる幅広い内容を学修します。また，ビジネスの視点から問題解決にあたり，新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力，課題探求・解決能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

民間企業（製造，卸・小売業），官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務，起業

【観光・地域振興コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学・経営学をベースに，観光学，地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに，観光に必要な調査法やフィールドワークにより，地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）
公務員（観光振興，地域振興），公益法人等（JA，生協，商工会議所），観光業，地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）
経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため，経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で，世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）
国内外の企業（国際部門など），公益法人（JICA など），NGO，新聞社などのメディア

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び，研究活動を実践するための，高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において，解決を必要としている問題を発見・探求し，自分の考えを論理的にまとめて，他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において，必要な情報を収集・分析し，自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり，コミュニケーション能力を備え，多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち，従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において，地域に根ざしながら世界と連携し共生するために，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ，英語，数学，国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は，大学において，国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は，数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は，講義やゼミナールで文献を読んだり，レポートを書いたり，自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め，論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり，読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて，国際的なコミュニケーション能力を養ったり，数学的な能力を培ったり，実務的な処理能力や教養を高めたりするために，英語検定，数学検定，簿記検定，漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象に，出願要件の履修科目と提出された書類で評価します。出願要件の履修科目として言語Ａ又は言語Ｂ（日本語），及び個人と社会又は数学を指定します。言語Ａ，言語Ｂ（日本語）では，経済学部での修学のために必要な日本語のコミュニケーション能力を評価します。個人と社会，数学では，経済学・経営学などを

学習するために必要となる人文社会科学の基礎学力や，数学的・論理的な推論能力を評価します。提出された書類では，知識・技能，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

医学部（医学科）

１．教育理念

香川大学医学部医学科は，①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者，②自ら課題を探求し，それを解決できる高度な専門知識と技術，科学的思考力，判断力を備える医師・医学研究者，③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し，地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者，④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力
② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
③ 自ら問題点を見出し，解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣
④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観，地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において，医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため，年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。４年次末においては，全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は６年次に卒業試験として行い，卒業判定に用います。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる，高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価，それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力，及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え，実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し，多面的な視点から考察し，他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学，医療の専門知識と技能に対する関心，生涯にわたりそれを学び続ける意欲，そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として，また，医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科，数学，英語，国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために必要となる，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部医学科の教育内容を修了するためには，優れた日本語能力及び数学や物理，化学，生物の基礎学力が必要なことから，これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。個別学力検査の数学では，論理的思考力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない学力です。英語では，英語でのコミュニケーション能力，英文教科書及び学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。書類審査では，知識・技能，思考力・判断力・表現力を総合的に評価し，面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

１．教育理念

香川大学医学部看護学科は，①生命の尊重を基本として，人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者，②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者，③幅広い視野をもち，地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

２．教育目標

① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し，思考力，判断力，行動力を高めることができる能力を養う。

② 看護の問題を総合的に判断し，解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。

③ 生涯を通じて自己啓発し，看護を批判的に分析し，建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。

④ 看護活動を通して教育，研究，管理を担い，及び国際貢献ができる能力を養う。

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため，全学共通科目を学びます。学部開設科目では，看護学における専門知識と技能を修得し，総合的な実践力，専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢，地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。
さらに養護教諭課程を編成・実施し，所定の単位を修得することにより，養護教諭免許を申請できます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊看護の対象を包括的に捉え，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と，自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部看護学科の講義内容を理解し，自分の考えを表現できる日本語能力を持っていることを求めます。理科の基礎学力が必要なことから，出願資格の履修科目として指定し，書類審査では，知識・技能，思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

また，本学科で学ぶにあたり，看護職としての適性を評価するため，面接を実施します。面接は日本語で行い，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

日本での居住歴が概ね10年以上ある帰国子女であれば，言語Ａ，Ｂともに日本語以外を履修している場合でも出願可能で，面接試験で日本語能力を評価します。

医学部（臨床心理学科）

１．教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は，①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者，②自ら課題を探求し，それを解決できる基本的な専門知識と技能，科学的思考力と共感的理解力を

備えた心理援助者，③多職種連携・協力ができる資質を持ち，心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに，心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 人間性を尊重した対人支援の態度，共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度

② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能，それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識

③ 心理臨床の学習・実践において，自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探求能力

④ 心理援助者としての倫理観，使命感，責任感，省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢

⑤ 地域社会における医療・保健，教育，福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解

⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた，社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが，「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」及び「卒業研究」を受講するには，医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では，心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで，身体と精神が相互に関連していることを理解し，心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では，心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに，少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって，人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力，クライエントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

＊他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊心理的援助に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち，他者との関わりを通して，自己理解を深め，自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

＊大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ，心理援助者として，地域に貢献し，社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

＊人間の健康，適応，成長に関わる心理援助者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語，英語，数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命や自然現象を科学的，論理的に理解するための幅広い知識の修得が，社会系科目では，人の生活の背景となる文化，歴史，社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するための，英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための，数学では，数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部臨床心理学科の講義内容を理解できる日本語能力，及び，「個人と社会」の基礎学力が必要なことから，これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。国際バカロレア選抜では，個人と社会の多様性を理解するための探究心，異なった文化的背景を持つ人たちと共生できるリーダーシップ，そして行動力を期待します。

また，個別学力検査では，国語又は数学，英語，面接を課します。国語又は数学について，国語は考えを論理的に展開したり，文章にまとめたり，適切に表現できる能力を，数学は推理能力や論理的な能力を評価するため，文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において，国際的なコミュニケーション能力を評価するために実施します。書類審査では，知識・技能，思考力・判断力・表現力を総合的に評価し，面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協調性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

創 造 工 学 部

１．教育理念

日本のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から，「ものづくり」さらには「ことづく

り」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており，人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに，「もの」や「こと」が創造的で新しいものであるほどそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し，また，「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから，「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は，これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため，以下に示す教育理念を定めています。

創造工学部では，人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て，人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し，専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドに加えて，デザイン思考能力並びにリスクマネジメント能力を磨くことで，国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

２．教育目標

創造工学部では，以下の素養を育成することを目標としています。

１）専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
２）高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
３）地域を理解し，地域と協働して価値の創造を行う力
４）審美力，多様性理解力，企画力，プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
５）様々なリスクを把握･抽出し事前に対応策を講ずるとともに，想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

３．教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は，全学生を対象に開設する科目で，人間的教養を高めるための教養教育科目です。１年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとＩＴ社会において必要な能力を身につける情報リテラシー，現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は，工学の専門家としての素養を身につけるための科目で，エンジニアとしての倫理観，コミュニケーション能力，デザイン思考能力，リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と，それぞれの分野の専門を深めるためのコース専門科目に大別されます。

創造工学部は，「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため７つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため，それぞれの特性を持った「コース専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は，美術・建築・工芸等の分野で，瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を，今日的視点で多角的に研究・継承し，芸術的視点で統合しながら，工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって，優れたコミュニケーション能力，表現力を育成し，工業製品のデザイン，情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで，地域の限られた人的及び物的資源を活用し，安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し，建築，土木，環境等の関連分野を俯瞰し，これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて，地域固有の自然環境や歴史文化，社会基盤，種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び，測量士補の資格や建築士などの受験資格を得ることができます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく，国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また，現在のようなグローバル化した世界では，ある地域の災

害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは，地域の強みと弱みをよく知り，経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び，何が脅威になるかという予見能力を持ち，ハードウェア，ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて，危機を未然に防止し，防止できないときには危機が災害に，災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報コース】

IT・デジタル技術や人工知能の進化により，個人の生活から産業のあり方まで，社会全体が大きく変わろうとしています。この変化を加速させるためにコンピュータ，セキュリティ，データ分析等の基礎知識に加え，これらを実社会に応用できる実践的なスキルをもった次世代型のIT人材が求められています。当コースでは，これらの要求に応えるため，グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術，高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術，利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ，地域，日本，世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報技術者を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

私たちの生活を一層豊かで便利にするために，身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び，人工知能（AI）を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立てる技術の開拓が求められています。本コースでは，これらに必要となる人工知能，無線・光通信ネットワーク，計測技術等を身につけるため，人工知能の基礎・応用，これらの電子回路上への実装，電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学びます。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し，「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。 機械工学の基礎として解析力，力学，制御技術，設計・製図を身に付け，その上で，高度な機械システムを形成するために必要な電気電子，情報分野の知識についても学びます。そのため，自動車，電機，情報，鉄鋼，医療機器など機械システムが関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは，材料科学の基礎であり，安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは，社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から，材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」，「機械材料科学分野」，「光・電子材料科学分野」の３つに統合し，自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は，製造業，化学，金属，素材メーカー，電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語，外国語，数学，理科などを中心に，幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え，それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し，自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち，身につけた知識・技術を分かりやすく表現し，共生環境創造，地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において，国語，外国語，数学，理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し，技術専門職として，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力も必要ですので，生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。創造工学部の講義内容を理解できる日本語能力，及び，数学や理科の基礎学力が必要なことから，これらの科目を出願資格の履修科目として指定しており，書類審査によって知識や思考力を評価しています。

農　学　部

１．教育理念

香川大学農学部は，先端的かつ総合的な生物科学を基礎に，自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより，豊かな人間性と国際的な視野，課題探求能力を備え，生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し，生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

２．教育目標

香川大学農学部では，生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ，科学的な思考に基づく課題設定力，国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え，多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

３．教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり，「学びと生き方科目」（「学問への扉」，「大学入門ゼミ」，「情報リテラシー」，「ライフデザイン」，「健康・スポーツ」から構成），「主題科目」，「学問基礎科目」，「外国語科目」，「広範教養教育科目」，「高度教養教育科目」という科目群から構成されています。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」，高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」，さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の１学科制を採用しています。入学後，まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し，生物科学の基礎を身につけます。この間に，自らの学習の方向性と適正を把握し，２年後期からは以下の５つのコースに分かれて専門科目を履修し，学修を体系的に完成させます。

【先端生命科学コース】

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により，生命現象や生物が有する機能をゲノムレベル・遺伝子レベル・タンパク質レベルで解明し，利用することが可能になってきました。先端生命科学コースでは，微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子（遺伝子，タンパク質）レベルで明らかにする生命科学の基礎から，その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

【アグリサイエンスコース】

豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と，生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして，遺伝資源の評価と品種改良，持続可能な生産管理技術と生産環境解析，生産物の流通・利用システムなどを，フィールド技術から生命科学の知識まで幅広く実践的に学びます。さらに，アグリサイエンスの理論を基礎から応用まで体系的に学習し，連携した実験やフィールドでの実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

【フィールド環境コース】

生物と環境との相互作用，環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として，化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し，フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに，環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【バイオ分子化学コース】

生物は多種多様な分子（有機化合物）を生産し，それらを自己防御や他者とのコミュニケーションに利用しています。バイオ分子化学コースでは，これらの分子の探索，構造解析，化学合成，作用機構の解析などを通して，自然界における生物の生存戦略を理解するとともに，有用な分子や関連する技術・情報などを農業，医薬，食品といった幅広い分野に提供できる人材の育成を行います。

【食品科学コース】

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し，食品の（1）機能性（2）安全性（3）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ，基礎から応用，そして実践的内容のカリキュラムで，安全で，機能性が高く，様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行います。

4．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し，多様な観点で考え，他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち，関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し，応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として，自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において，理科，数学，国語，英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では，生物科学の様々な分野の学問を理解し，生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。また，生物資源の生産と利用に関する情報を理解し，自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

５．入学者選抜の基本方針

国際バカロレア認定校で学び，国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。農学部の講義内容を理解できる日本語能力，及び，生物と化学の基礎学力が必要なことから，これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。書類審査により知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲等を総合的に評価します。

Ⅱ　募集人員

学　部	学科・課程・コース等		募集人員
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	若干人
		中学校教育コース	若干人
法学部	法学科		若干人
経済学部	経済学科		若干人
医学部	医学科		若干人
	看護学科		若干人
	臨床心理学科		若干人
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	若干人
		建築・都市環境コース	若干人
		防災・危機管理コース	若干人
		情報コース	若干人
		人工知能・通信ネットワークコース	若干人
		機械システムコース	若干人
		材料物質科学コース	若干人
農学部	応用生物科学科		若干人

Ⅲ　出願について

1．出 願 資 格

次の各号の要件（1）～（3）のすべてに該当する者です。

（1）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書（IB フルディプロマ）を 2023 年４月から 2026 年３月までに授与される（見込を含む）者で，2026 年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

（2）国際バカロレア資格の取得において，次の①～③（③は医学部医学科のみ）に該当する者

①言語 A（母語）を日本語により Higher Level（以下「HL」という）又は Standard Level（以下「SL」という）で履修し成績評価が４以上の者，又は言語 B（外国語）について「日本語」を HL で履修し成績評価が６以上の者，あるいは SL で履修し成績評価が７の者

＊ただし，医学部看護学科においては，日本での居住歴が概ね 10 年以上ある帰国子女であれば，言語 A，B ともに日本語以外を履修している場合でも出願可能です。面接試験で日本語能力を評価します。

②本学が指定する別表 17 ページの「２．出願要件の履修科目」の科目を履修していること

③医学部医学科においては，IB フルディプロマのスコア（45 点満点）が 38 点以上の条件を満たしていること

（3）本学での勉学を強く志望し，合格した場合は必ず入学することを確約できる者

２．出願要件の履修科目

<table>
<tr><th colspan="3">学部・課程等</th><th>出願要件の履修科目（＊１）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学部</td><td rowspan="2">学校教育教員養成課程</td><td>小学校教育コース</td><td rowspan="2">指定なし</td></tr>
<tr><td>中学校教育コース</td></tr>
<tr><td>法学部</td><td colspan="2">法学科</td><td>グループ３「個人と社会」から１科目（HL 又はSL で成績評価が４以上）</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td colspan="2">経済学科</td><td>グループ３「個人と社会」から１科目（HL で成績評価が４以上），又は数学（HL 又はSL で成績評価４以上）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">医学部</td><td colspan="2">医学科</td><td>数学（HL 又はSL）
物理，化学，生物から２科目（うち１科目はHL）</td></tr>
<tr><td colspan="2">看護学科</td><td>物理，化学，生物から１科目（HL 又はSL）</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床心理学科</td><td>グループ３「個人と社会」から１科目（HL 又はSL）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">創造工学部</td><td rowspan="6">創造工学科</td><td>造形・メディアデザインコース</td><td rowspan="5">数学，物理の２科目（うち１科目はHL）</td></tr>
<tr><td>建築・都市環境コース</td></tr>
<tr><td>防災・危機管理コース</td></tr>
<tr><td>情報コース</td></tr>
<tr><td>人工知能・通信ネットワークコース</td></tr>
<tr><td>機械システムコース</td></tr>
<tr><td>材料物質科学コース</td><td>数学（HL 又はSL），
物理（HL），化学（HL）の３科目</td></tr>
<tr><td>農学部</td><td colspan="2">応用生物科学科</td><td>化学，生物の２科目（うち１科目はHL）</td></tr>
</table>

（＊１）数学については，HL，SL ともにMath Analysis and Approaches 又はMath Application and Interpretation のどちらの科目を選択しても構いません。

３．出 願 手 続

〔1〕出 願 期 間

学　部	期　間
教 育 学 部	2026 年１月 26 日（月）から２月 ４日（水）まで
法 学 部	2025 年12月 ８日（月）から12月 12 日（金）まで
経 済 学 部	2026 年１月 19 日（月）から１月 23 日（金）まで
医 学 部	2026 年１月 26 日（月）から２月 ４日（水）まで
創 造 工 学 部	2026 年１月 19 日（月）から１月 23 日（金）まで
農 学 部	

〔2〕出 願 方 法

入学志願者は，〔４〕の出願書類等を取りそろえ，「封筒貼付用あて名シート」を印刷し，角形２号封筒（240mm×332mm）に貼り付け，郵送してください。

次表の各志望学部提出先に，出願期間最終日の 17 時までに必着（郵送期間を十分考慮してください。）するよう，必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。ただし，郵送で出願期間最終日の 17 時を過ぎて書類が届いた場合は，前々日までの消印（【法学部】は 12 月 10 日（水），【経済学部】【創造工学部】【農学部】は１月 21 日（水），【教育学部】【医学部】は２月２日（月）までの消印）があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

なお，出願期間最終日の９時から 17 時までに限り，持参による出願を認めます。受付場所は次表に記載されている提出先のとおりです。

〔3〕出願書類等提出先

志望学部	提 出 先	提出先住所等
教 育 学 部	入試課	〒760-8521　高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1182　入試課 （087）832-1428　教務課学務係 （教育学部担当）
法 学 部	教務課学務第一係 （法学部担当）	〒760-8523　高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1859
経 済 学 部	教務課学務第二係 （経済学部担当）	〒760-8523　高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1813
医 学 部	入試課	〒760-8521　高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1182　入試課 （087）891-2074　医学部学務課入試係
創造工学部	創造工学部学務係	〒761-0396　高松市林町 2217 番地 20 TEL（087）864-2015
農 学 部	農学部学務係	〒761-0795　木田郡三木町大字池戸 2393 番地 TEL（087）891-3015

〔4〕出願書類等（①から⑪を取りそろえ提出してください。）

	出願書類等	注意事項
①	入　学　願　書	各学部所定の用紙により作成してください。
②	受　験　票　又　は 願　書　受　理　票	【教育学部】【法学部】【医学部医学科・看護学科・臨床心理学科】 各学部所定の用紙（受験票）に必要事項を記入してください。 【経済学部】【創造工学部】【農学部】 各学部所定の用紙（願書受理票）に必要事項を記入してください。
③	写　　真　　票	各学部所定の用紙に必要事項を記入してください。 出願以前６か月以内に撮影した写真（縦４㎝×横３㎝，上半身，無帽，正面向き）を貼付してください。（写真裏面に氏名を記入してください。）
④	志 願 者 評 価 書	本学所定の用紙により，在籍する又は出身学校の学校長，担任の教員等が作成し，厳封してください。
⑤	志　望　理　由　書	【医学部看護学科以外】 本学所定の用紙に「１　志望理由」及び「２　自己アピール」を志願者が自筆で記入してください。（医学部医学科，医学部臨床心理学科及び創造工学部志願者は Word 等のワープロソフトでの作成も可とします。）記入方法としては，それぞれＡ４判１枚とし，日本語とします。 【医学部看護学科】 医学部看護学科所定の志望理由書を用い，「１　志望理由」及び「２　小論文」をそれぞれ 1,000 字以内で志願者が自筆で記入してください。Word 等のワープロソフトでの作成も可とします。記入方法としては，Ａ４判１枚とし，日本語とします。
⑥	国際バカロレア資格証書の写し等	〔2023 年４月～2025 年５月国際バカロレア資格取得者〕 国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びＩＢ最終試験６科目の成績評価証明書を志望する学部の学務係（教育学部・医学部は入試課）へ提出してください。 〔2025 年 11 月 IB 最終試験の受験者〕 【法学部以外】 ＩＢ最終試験６科目の成績評価証明書が出願期間最終日（18 ページ参照）17 時までに国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）から本学（入試課）へ直接到着するよう手続きを行ってください。また，国際バカロレア資格取得見込みで出願した者が合格となった場合は，国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写しを３月 18 日（水）17 時までに本学（入試課）へ提出してください。 国際バカロレア資格証書の写しを提出期限までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が，３月 18 日（水）17 時までに国際バカロレア資格を取得できない場合は，入学を許可しない場合がありますので，事前に本学（入試課）までご相談ください。 【法学部】 在籍する又は出身学校の学校長，進路指導担当者等が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書（任意様式）及びＩＢディプロマ「Predicted Grades（予測スコア）」に学校長の印を押印したものを出願期間最終日（18 ページ参照）17 時までに本学（入試課）へ提出してください。加えて，IB 最終試験６科目の成績評価証明書が１月 23 日（金）17 時までに国際バカロレア

		事務局（International Baccalaureate Office）から本学（入試課）へ直接到着するよう手続きを行ってください。 国際バカロレア資格取得見込みで出願した者が合格となった場合は，国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写しを３月 18 日（水）17 時までに本学（入試課）へ提出してください。 国際バカロレア資格証書の写しを提出期限までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が，３月 18 日（水）17 時までに国際バカロレア資格を取得できない場合は，入学を許可しない場合がありますので，事前に本学（入試課）までご相談ください。
⑦	ＥＥ（Extended Essay：課題論文）の写し等	ＥＥ（Extended Essay：課題論文）を日本語で作成した場合，その写しを提出してください。英語で作成した場合，その写し及び日本語要約（Ａ４用紙２枚（3,000 字）程度）を提出してください。(Word 等のワープロソフトで作成可)
⑧	外部英語試験の成績証明書	TOEFL，TOEIC，IELTS，実用英語技能検定（英検）のいずれかの成績通知書（原本の写し）を提出してください。英語を「母語」とする者が出願する場合は，提出不要です。TOEIC については，ＱＲコード付きの「デジタル公式認定証」をＡ４用紙に印刷したものでも可とします。なお，印刷後，ＱＲコードを読み込むことができるかを確認してください。
⑨	検定料 17,000 円	○日本国内から送金する場合 入学願書と「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上，下記のそれぞれの期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください（ＡＴＭは利用できません。また，振込手数料は振込人負担です。）。 その際，**必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。** （注）通常，金融機関の窓口取扱時間は，平日の 15 時までです。 また，土曜日，日曜日及び祝日は休業となりますので注意してください。 ――――――――――――――――――――――――――― ○振込受付期間 【法学部】 2025 年12月１日（月）～12月 12 日（金）（日本時間） 【経済学部】,【創造工学部】,【農学部】 2026 年１月９日（金）～１月 23 日（金）（日本時間） 【教育学部】,【医学部医学科・看護学科・臨床心理学科】 2026 年１月19日（月）～２月 ４日（水）（日本時間） ――――――――――――――――――――――――――― ○海外から送金する場合 **振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が振込人（志願者）負担**となるよう現地の銀行に申し出た上で，必ず**受験者本人名義**により**日本円（円建て）**で振り込んでください。 手数料が振込人（志願者）負担となっていないため検定料が不足して入金されるケースが起きています。送金の際，本学まで確実に 17,000 円が送金されるか入念に現地銀行に確認し，不足しないように十分注意してください。 【振込口座（A transfer account)】 銀行名(Bank name)： 百十四銀行（The Hyakujushi Bank Ltd)

		銀行コード(Bank code)：0173 銀行住所(Bank address)：香川県高松市亀井町５番地１ (5-1, Kamei-cho, Takamatsu, Kagawa) 支店名（Branch name)： 本店営業部（Head office) 支店コード（Branch code)：101 SWIFT Code： ＨＹＡＫＪＰＪＴ 受取人口座番号（Account number)：普通預金 2785280 (A/C No. 2785280) 受取人口座名義（Account name)：国立大学法人香川大学 (Kagawa University)
⑩	受験票等返送用封筒	「受験票等送付用住所記載シート」を印刷し，長形３号封筒（120㎜×235㎜）に貼り付けた上で，志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記し，410円分の郵便切手を貼付してください。現住所が日本国内でない方で，「日本での連絡先」がない場合は，受験票を海外の住所へ EMS で送付しますので国際返信切手券（International Reply Coupon)を同封してください。(必要な国際返信切手券の枚数は国により異なります。)
⑪	あ　て　名　票	本学所定の用紙に，志願者の氏名，住所，郵便番号及び電話番号を記入してください。

〔５〕出願上の注意事項

（１） 国際バカロレア選抜に出願する者は，他の学部等の国際バカロレア選抜に出願することはできません（併願はできません)。

（２） 教育学部，医学部（医学科，臨床心理学科）の国際バカロレア選抜に出願する者は，本学で同時期に実施する一般選抜（前期日程）に出願することはできません。

（３） 出願書類が不備の場合は受理できません。

（４） 出願書類受理後は，書類の返還及び記載内容の変更を認めません。

（５） 払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※上記①又は②に該当される方は，香川大学入試課 TEL (087)832-1182 へご連絡ください。

４　選抜方法及び配点

〔１〕選抜方法

学部・課程等			選抜方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	書類審査及び面接を行い，総合的に判定する
		中学校教育コース	
法学部	法学科		書類審査及び面接を行い，総合的に判定する
経済学部	経済学科		書類審査のみで判定する
医学部	医学科		書類審査，面接及び筆記試験を行い，総合的に判定する
	看護学科		書類審査及び面接を行い，総合的に判定する
	臨床心理学科		書類審査，面接及び筆記試験を行い，総合的に判定する
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	書類審査のみで判定する
		建築・都市環境コース	
		防災・危機管理コース	
		情報コース	
		人工知能・通信ネットワークコース	
		機械システムコース	
		材料物質科学コース	
農学部	応用生物科学科		書類審査のみで判定する

〔2〕個別学力検査・面接・書類審査等の配点

学部・学科	個別学力検査		面接※1	書類審査※2	合計
教育学部			300点	200点	500点
法学部			可・否	200点	200点
経済学部				200点	200点
医学部・医学科	数学 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』必須	200点	100点	※3	700点
	理科 (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』) から2科目	200点			
	外国語 『英語』必須	200点			
医学部・看護学科			200点	200点	400点
医学部・臨床心理学科	国語 『国語』 数学 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』 ※国語・数学から1教科	200点	100点	※3	500点
	外国語 『英語』必須	200点			
創造工学部				200点	200点
農学部				200点	200点

※1　面接における使用言語は「日本語」です。
※2　出願時に提出した書類等を基に書類審査を行います。
※3　提出を必須としますが，点数化は行いません。

【医学部医学科】

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお，『　』内の記載を１科目と数えます。

（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

2　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の６科目を合わせた範囲から出題します。

「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

3　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」の６科目を合わせた範囲から出題します。

【医学部臨床心理学科】

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお，『　』内の記載を１科目と数えます。

（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

2　『国語』　「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」の５科目を合わせた範囲から出題します。

3　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の５科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の６科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。

「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の５科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。

「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の６科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

4　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」の６科目を合わせた範囲から出題します。

５．個別学力検査等の日時及び場所

〔１〕個別学力検査等の日時

学部・学科	月日	時間	試験内容	備考
教育学部	2026年 ２月25日（水）	９：00～	面　接	
法学部	2026年 １月24日（土）	12：00～	面　接	
経済学部				出願書類のみで判定するため，選抜期日を設けていない
医学部・医学科	2026年 ２月25日（水）	８：30～10：00	数　学	
		10：15～11：45	外国語	
		12：35～15：35	※理科	
	2026年 ２月26日（木）	９：00～	面　接	
医学部・看護学科	2026年 ２月25日（水）	※午後	面　接	
医学部・臨床心理学科	2026年 ２月25日（水）	８：30～10：00	国語・数学	
		10：15～11：45	外国語	
		12：45～	面　接	
創造工学部				出願書類のみで判定するため，選抜期日を設けていない
農学部				出願書類のみで判定するため，選抜期日を設けていない

【医学部医学科】

※ 医学部医学科の理科は，出願時に選択した２科目を３時間で解答します。

【医学部看護学科】

※ 時間等の詳細は，受験票送付時に同封予定の受験上の注意事項にてお知らせします。

〔２〕個別学力検査等の場所

個別学力検査等は，それぞれの志望学部で行います。

学部・学科	場所
教育学部	幸町北キャンパス（高松市幸町１番１号）
法学部	幸町南キャンパス（高松市幸町２番１号）
医学部・医学科	三木町医学部キャンパス（木田郡三木町大字池戸1750番地1）
医学部・看護学科	
医学部・臨床心理学科	

※試験場には自動車で入構できません。

〔3〕受験上の注意事項

【共　通】

（1） 試験当日は，必ず受験票を持参してください。
　なお，受験票は，入学試験個人成績等開示請求の際に必要ですので，試験終了後も大切に保管しておいてください。

（2） 携帯電話，スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は，電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。

（3） 不正行為のあった場合は，直ちに退場してもらいます。
　なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（4） 個別学力検査等についての詳細は，試験場に掲示します。

【教育学部】

試験当日は，８時 45 分までに集合してください。

【法学部】

試験当日は，11 時 50 分までに集合してください。

【医学部・医学科】

（1） 試験当日，１日目は８時 20 分までに所定の試験室に入室，２日目は８時 45 分までに面接試験控室に集合してください。

（2） 数学の試験開始から 15 分以上遅刻した場合は受験できませんので，試験時間をよく確認しておいてください。
　外国語，理科及び面接については，遅刻を認めません。

（3） 数学，外国語及び理科では，机の上に HB の黒鉛筆（シャープペンシル可），消しゴム，鉛筆削り（小型で手動のもの），時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋から取り出したもの），目薬以外の携行品を置いてはいけません。
　ただし，数学及び理科では，定規（三角定規を含む）を使用してもかまいません。

【医学部・看護学科】

（1） 試験当日の集合時刻等の詳細については，受験票送付時に同封予定の受験上の注意事項にてお知らせします。

（2） 試験開始に遅刻した者は，受験できません。

【医学部・臨床心理学科】

（1） 試験当日は，８時 20 分までに所定の試験室に入室してください。

（2） 国語・数学の試験開始から 15 分以上遅刻した場合は受験できませんので，試験時間をよく確認しておいてください。
　外国語及び面接については，遅刻を認めません。

（3） 国語・数学及び外国語では，机の上に HB の黒鉛筆（シャープペンシル可），消しゴム，鉛筆削り（小型で手動のもの），時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋から取り出したもの），目薬以外の携行品を置いてはいけません。
　ただし，数学では，定規（三角定規を含む）を使用してもかまいません。

※　令和 8 年度大学入学者選抜実施要項（令和 7 年 6 月 3 日・文部科学省通知）において，「個別学力検査」は「教科・科目に係る個別テスト」に変わりました。

６．合 格 者 発 表

合格者の発表は，下記日時に本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

なお，電話等による合否の問い合わせには応じません。

学　部　等	日　　時
教　育　学　部	2026年３月６日（金）　午前９時（予定）
法　学　部	2026年２月11日（水・祝）　午前９時（予定）
経　済　学　部	
医学部医学科	2026年３月６日（金）　午前９時（予定）
医学部看護学科	
医学部臨床心理学科	
創　造　工　学　部	2026年２月11日（水・祝）　午前９時（予定）
農　学　部	

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

７．入 学 手 続

合格者は，入学手続期限までに入学手続を完了してください。

入学手続書類は，**「簡易書留・速達」とし，入学手続期限日の 17 時（必着）までに教育･学生支援部教育企画課**へ送付してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には，入学辞退者として取り扱います。

なお，入学手続に関しての詳細は，合格通知書送付時に通知します。

〔1〕 入学手続期限

学　部　等	日　　時
教　育　学　部	2026年３月15日（日）　17時まで（必着）
法　学　部	2026年２月18日（水）　17時まで（必着）
経　済　学　部	
医学部医学科	2026年３月15日（日）　17時まで（必着）
医学部看護学科	
医学部臨床心理学科	
創　造　工　学　部	2026年２月18日（水）　17時まで（必着）
農　学　部	

〔２〕入学手続に必要なもの

入学手続に必要なものは，次のとおりです。

① 本学所定の誓約書　１部

② 各学部に必要な書類

③ 納　付　金

入学料　　282,000円(予定)

授業料(前期分)	267,900 円(予定)
（年　額）	535,800円(予定)

なお，入学時及び在学中に納付金が改定された場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注)１．前期分の授業料については，2026年４月１日から2026年５月31日までの間に納付してください。また，希望により，前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

２．払込済の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 入学手続を行わなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合

３．入学料・授業料の納付が困難な学生のために，免除や徴収猶予の制度があります。
入学手続書類送付から手続までの期間が短いため，申請希望者は香川大学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/）で事前に必要書類をご確認ください。

４．入学手続を完了した後，何らかの事情で入学することができなくなった場合は，速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は，2026年４月１日付けで入学したこととなり，授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔３〕入学手続書類送付先

〒760-8521
高松市幸町１番１号
香川大学教育・学生支援部教育企画課

８．その他の注意事項

（１）「受験票」（【教育学部】，【法学部】，【医学部】）及び「願書受理票」（【経済学部】，【創造工学部】，【農学部】）は，入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので，大切に保管しておいてください。

（２）ノートパソコン必携について

本学では，急速に進む高度情報化社会においてICT（情報通信技術）を充分に活用できる能力を有する人材を輩出すること，ICTを活用した先進的講義手法により教育力を強化すること，各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として，2021年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお，特別な事情がある場合は入学する学部の学務係（医学部は教務係）までご相談ください。

９．個人情報の取扱いについて

（１）出願書類に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

（２）入学者選抜における個人成績は，入学者選抜の他，調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析，各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し，本学の関係教職員以外への提供は行いません。また，調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

10. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等，受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

また，相談は志願者本人，保護者及び担任教員等，本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，出願前のできるだけ早い時期に，相談してください。

特に，下表に相当する障害等のある者については，申出がなかった場合，受験の際，障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は，お問い合わせください。

区　分	障　害　等　の　程　度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とするもの （例）発達障害（ＡＤＨＤ，自閉症等），パニック障害，頻尿

また，医学部に関しては，心身の障害の程度により，卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」「看護師」等の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は，医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/280/）を参照してください。

〔１〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge-2/）からダウンロードしてください。

〔２〕問い合わせ先

香川大学入試課　〒760-8521　高松市幸町1番1号　TEL(087)832-1182

11. 国際バカロレア選抜等に関する照会

国際バカロレア選抜等に関する照会は，下記あてに行ってください。

香川大学入試課	〒760-8521	高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1182
香川大学教務課学務係（教育学部担当）	〒760-8522	高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1428
香川大学教務課学務第一係（法学部担当）	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1859
香川大学教務課学務第二係（経済学部担当）	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1813
香川大学医学部学務課入試係	〒761-0793	木田郡三木町大字池戸 1750 番地 1 TEL（087）891-2074
香川大学創造工学部学務係	〒761-0396	高松市林町 2217 番地 20 TEL（087）864-2015
香川大学農学部学務係	〒761-0795	木田郡三木町大字池戸 2393 番地 TEL（087）891-3015

Ⅳ　入試情報の開示について

１．入学者選抜試験における個人成績等の開示

〔１〕開示内容

試験成績の開示を希望する受験者には，本人の申請により，総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点並びに総合順位を通知します。

ただし，合格者が10人に満たない学部・学科等の受験者には，総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点のみを通知します。

2026年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は，下記のとおり申請してください。

〔２〕申請方法

下記①～③の書類を同封し，郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」
申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）からダウンロードすることも可能です。

② 本学の受験票又は願書受理票（コピー不可）
受験票又は願書受理票を添付できない場合は，運転免許証，マイナンバーカード（表面），パスポート等のコピーを添付してください。
なお，提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所，氏名及び電話番号を記入したもの）
レターパックプラスは二つに折って入れてください。

〔３〕申請書受理期間

2026年４月10日（金）から2026年５月８日（金）まで（当日消印有効）

〔４〕申請先

〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試課　TEL(087)832-1182

〔５〕申請者に対する開示時期

2026年６月中旬ごろに郵便（レターパックプラス）にて本人に通知します。

〔６〕その他

開示に要する手数料は，無料です。ただし，郵送料は申請者の負担とします。

２．入試問題の閲覧

（１）本学入試問題については，香川大学入試課において閲覧できます。

閲覧時間は，９時から17時までです（土曜日，日曜日，祝日，本学の夏季一斉休業期間（８月中旬）及び12月29日～１月３日を除く。）。

○ 問い合わせ先：香川大学入試課　TEL(087)832-1182

（２）情報提供の一環として，本学ホームページ上においても，入試問題を公表します（原則として過去１年分のみ。）。なお，著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

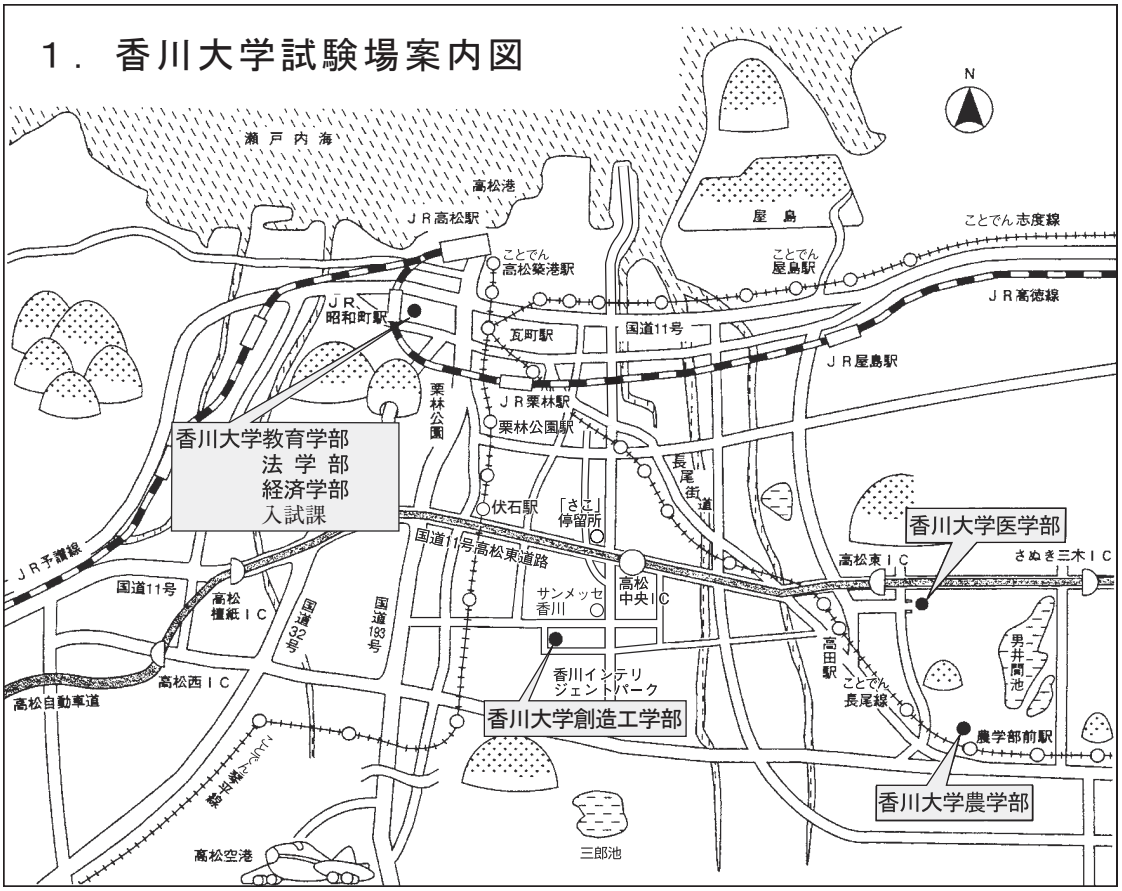
○ 公表予定期間

2026年７月から約１年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

Ⅴ　試験場案内図

1．香川大学試験場案内図



教育学部･法学部･経済学部・入試課

ＪＲ	高徳線「高松駅」⟶「昭和町駅」下車　徒歩５分（東へ250m）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前①②番のりば） ことでんバス　11下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」⟶「幸　町」下車　徒歩２～３分（西へ150m） ことでんバス　13下笠居線・宮脇町経由便又は15イオン高松線（南ルート） 「高松駅」⟶「宮脇町」下車　徒歩２～３分（北へ150m） ことでんバス　まちなかループバス　1東廻り　2西廻り 「高松駅」⟶「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ 高松空港発 空港連絡バス⟶「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車　徒歩10分～15分（西へ750m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学　約10分　約800円

医　学　部

電　車	ことでん長尾線「高松築港駅」⟶「高田駅」下車　バス５分　又は　徒歩25分（北東へ1.5km）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑦番のりば） ことでんバス　75大学病院線 「高松駅」⟶「大学病院」下車　徒歩１分（北へ50m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学医学部　約30分　約4,000円

創造工学部

電　車	ことでん琴平線「高松築港駅」⟶「伏石駅」下車　バス約10分 ことでんバス　伏石駅サンメッセ線　「香川大学創造工学部前」下車すぐ
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑧番のりば） ことでんバス　65川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」⟶「香川大学創造工学部前」下車　徒歩１分（南へ50m） ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（西へ500m）
高速バス	高速バス「高松中央インター南」下車　北西へ徒歩３分（200m）　又は 「高松中央インターバスターミナル」下車　西へ徒歩５分（380m） ↓ ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 63西植田線 「さこ」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（500m） ※徒歩の場合，「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分（約1.8km） 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分（約2.0km）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学創造工学部　約30分　約3,500円

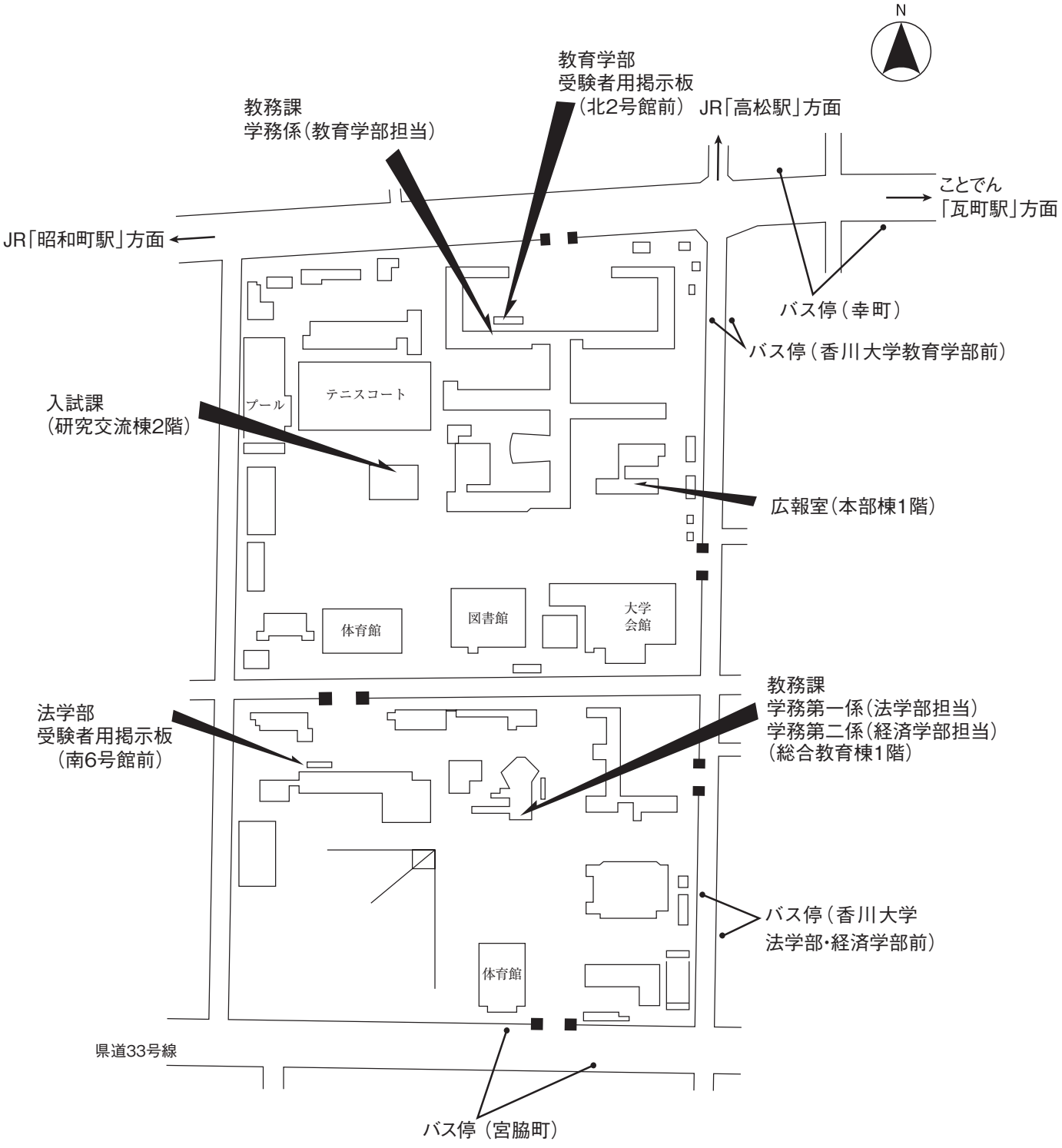
農　学　部

電　車	ことでん長尾線「高松築港駅」⟶「農学部前駅」下車　徒歩２分（北へ100m）
バス	大川バス　引田線（高松駅前⑧番のりば）「高松駅」⟶「農学部前」下車　徒歩５分（北へ250m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学農学部　約40分　約4,400円

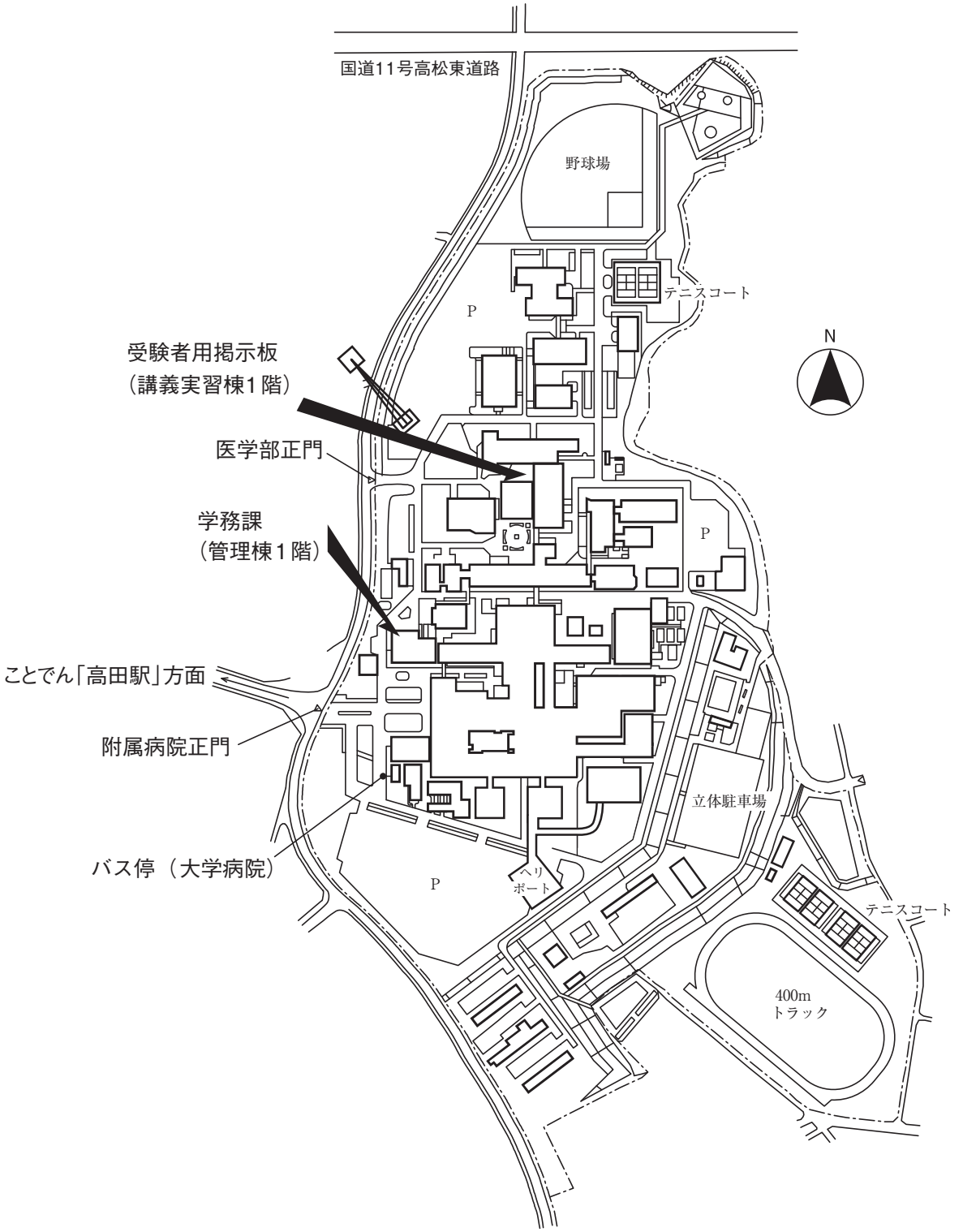
（注）電車，バス等の運行時刻については，受験者各自で確認してください。また，バス路線等については，変更になる場合もあるので注意してください。

２．香川大学建物配置図

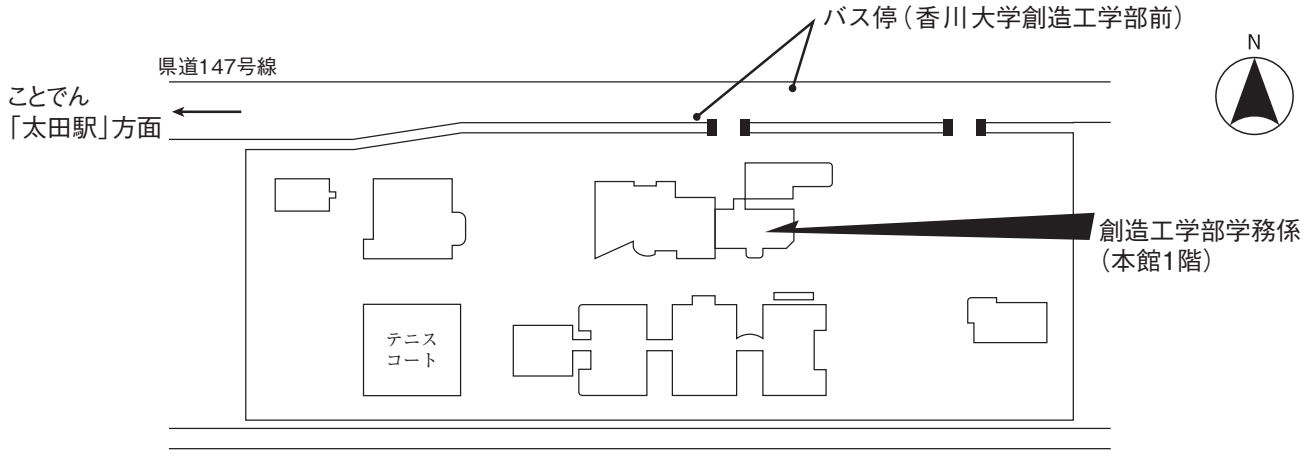
幸町北キャンパス（教育学部）
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）



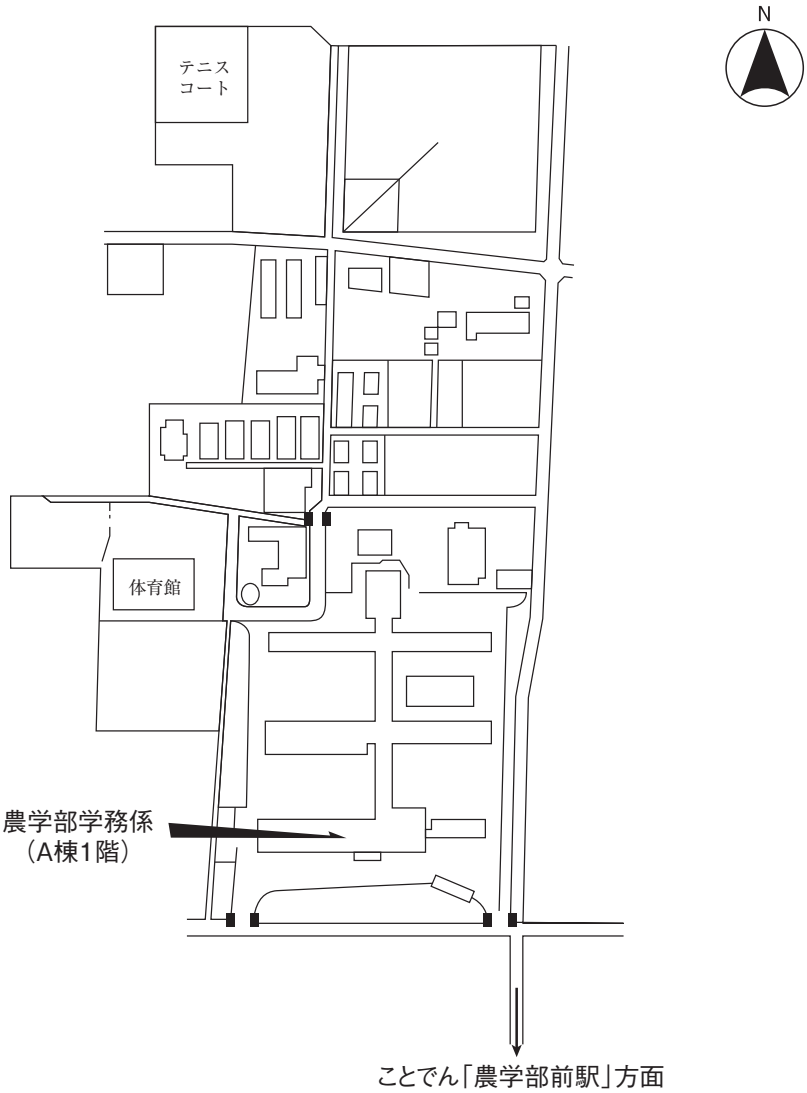
三木町医学部キャンパス（医学部）



林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）



入学試験等に関する照会先

香川大学入試課	ＴＥＬ（０８７）８３２－１１８２ 〒760-8521　高松市幸町１番１号
香川大学教務課学務係 （教育学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１４２８ 〒760-8522　高松市幸町１番１号
香川大学教務課学務第一係 （法学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８５９ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学教務課学務第二係 （経済学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８１３ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学医学部学務課入試係	ＴＥＬ（０８７）８９１－２０７４ 〒761-0793　木田郡三木町大字池戸1750番地１
香川大学創造工学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８６４－２０１５ 〒761-0396　高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８９１－３０１５ 〒761-0795　木田郡三木町大字池戸2393番地

香川大学ホームページ　　https://www.kagawa-u.ac.jp/

～　不測の事態発生時等における諸連絡について　～

災害等の不測の事態が発生し，入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については，上記の本学ホームページ等でお知らせしますので，ご確認ください。

また，入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので，試験当日まで注意してご覧ください。